



## 「江戸からくりの魅力」のご案内

1月恒例の「江戸からくりの魅力」を石川県政記念  
しいのき迎賓館Bギャラリーで令和2年1月11日（土）  
～1月19日（日）に開催します。4回目の開催ですが、  
今回で最後の展示・実演にしたいと思っています。ま  
た、中部の山車祭りを紹介する写真パネル（16地区）  
を同時展示します。

石川県では大野からくり記念館でからくり人形の実  
演を行っています。全国的には川崎市にある東芝未来  
科学館でも実演を見ることが可能です。現在からくり  
人形を作成・修理するプロとしてのからくり人形師は  
全国で4、5人ほどになってしまいました。数年後には  
確実にからくり人形の実演を見ることができなくな  
ると思われまので、この機会に是非お出かけいた  
だきたいと思ひます。

なお、今回は函館の「からくり人形館」で展示・実  
演されていた平塚英昭氏（故人）が作られた山車から  
くりの一部も特別展示いたします。

※平塚英昭氏のこと・・・平塚氏は1943年北海道釧  
路生まれで、大手広告代理店にクリエイターとして勤  
務していた。からくり人形との出会いは30歳の頃。雑



①茶運び人形  
②からくり人形を操作する  
平塚氏

誌に掲載されていた茶運び人形を見たのが最初だった。  
それがきっかけとなり、独学で図面を描き、からくり  
人形を作成した。それからいろいろなからくり人形を  
40年間で30体製作している。からくり人形を作り始め  
た動機は「他の人にはできないことをしたかったから」。  
山車に乗ったからくり人形を見るために愛知県や岐阜  
県、三重県に足を運び、山車からくりを研究したそう  
だ。

その後、自作のからくり人形を多くの人に見てもら  
い、からくり文化を広めたいと思って、函館で「から  
くり人形館」を2004年3月に開設した。もちろん入館  
料は無料である。2015年12月に亡くなられ、「からく  
り人形館」は閉館となった。

## 「2020年度 教育実践論文」のご案内

当会では、一昨年度より「教育実践論文」の募集  
を始め、支部奨励賞を助成してきました。しかしな  
がら、応募件数が少ないのが現状です。隣県の富山  
県や福井県では以前より取り組んでいるためか、と  
ても多くの教育実践論文の応募があります。石川県  
では教職員の皆様への周知がまだまだ不足してい  
ると強く感じています。この教育実践論文は日ごろ  
の教職員の皆様が行っている教育活動を論文で発表  
していただく機会を提供するものですので、ぜひチ  
ャレンジしていただきたいと思ひます。2020年度の募  
集要項は4月に当会のHPに掲載しますが、今年度  
から準備いただければ幸いです。

支部奨励には学校部門（学校長）と個人部門があ  
ります。それぞれに奨励賞を助成しています。2020

年度は支部長賞も創設したいと思っておりますので、  
多くの学校や教職員の応募を期待しております。

また、支部奨励賞を受けた論文の中から、特に優  
れた3編を（公財）日本教育公務員弘済会が主催す  
る「日教弘教育賞」へ推薦します。

なお、詳細につきましては当会HP掲載の募集要項  
にてご確認ください。





## 2020年度 教育研究大会助成 締め切りの変更

(公財)日教弘石川支部(以下、当会)では、教育振興事業として「教育研究大会助成」を行っております。2020年度に石川県で開催される北陸大会以上の教職員による研究大会助成の募集を、11月1日から1月31日まで行っています。4月にご案内しました「いしかわ教弘の事業案内」には、締め切り日が2月29日となっておりますが、今年度の最後の選考委員会が2月13日に開催されることになりましたので、締め切り日を変更します。ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。また、締め切り日までに開催が未定の研究大会につきましては、2020年4月1日から6月末日(予定)まで再募集します。

なお、募集要項・申請書は当会のHPに掲載しておりますので、必ずご確認ください。

## インフルエンザ予防接種について

11月末日でインフルエンザ予防接種補助の申請者は、当初予定の200人を超えました。その後もご要望の方が多数おいでましたので、予備費からプラス200人分の助成金を捻出しました。接種を受けられた現職の教弘会員様は、ご利用ください。400人に達し次第、締め切ります。申請書等に不備のある場合は、受付できませんので、お気を付けください。

なお、募集要項及び申請書(要押印)は当会HPに掲載されています。

## 研究図書助成について

当会では毎年、現職の教弘会員の皆様に研究図書の購入補助として図書カード2,000円を贈呈しています。今年度の第一回の1,000円の図書カードが11月中旬に届いていると思います。第2回は2月中旬を予定しております。今年度の基準日は、第1回が10月1日、第2回が1月1日となっておりますので、ご理解ください。また、教弘会員へのお得な情報チラシも同封してありますので、ご利用いただければ幸いです。

## セミナーのご案内

8月に「生活設計セミナー」を開催しました。また、11月下旬には今年度第2弾として、「資産運用のセミナー」を開催しました。どちらも沢山の教職員の方に参加いただき、誠に感謝申し上げます。特に年金セミナーは聞くたびに新しい発見があると感じました。



当会では、第3回のセミナーを2月に開催予定です。セミナーの内容については改めてチラシとHPにてご案内します。

## Column

### 書店にて！

休日に近所の書店へ行くことが習慣となった。そこで3~4時間近く滞在する。この書店には椅子が置かれているから、書棚から目次を見て2・3冊抱えてきて、椅子に座って読書。ではなくて、大抵は寝ることになる。うつらうつらするのに、ここが最適なのだ。適度な音量のBGMとそれに混ざって聞こえてくる幼児の声が、心地よい。ちょうどお酒を飲みながら夕飯を食べたあと、テレビからの音を聞きながら眠る感覚に近いのだろう。それでもけっこう熟睡するときがある。きっとみっともない姿だろうと思う。もちろん、本も読むが、一冊熟読することはない。

ここで本を読む目的は、仕事のことがほとんどだ。仕事での課題に対するヒントがないかと思って、言葉探しをする。これまで手に取った書物から得るものがなかったことはない。この日も、よいフレーズに出会った。ただ最近では記憶力がなくなってきたので、家に着いた頃には、すっかりと忘れてしまうことも度々だ。メモすればいいのと思うが、図書館ではないので、マナー違反となる。

本を読むのなら図書館でもいいではないかと思うだろうが、最近オープンした市の立派な図書館は読みたい新刊本がない。それに探すのに手間がかかる。私にとって、静か過ぎるのが致命的だ。緊張して寝れないし、本を読むこともままならない。調べ物をするのなら図書館だが、リラックスできる場所ではない。

やはり座って本の読める書店がいいのだ。もちろん気になった内容の本は買うので、礼儀として場所代は払っているつもりだ。近頃は書物の種類や配置の仕方が、書店に求められている。先日、入店料を払う書店のことがテレビで紹介されていたが、十分にありだと思ふ。こうなるとスタッフのアイデアや本への専門知識、お客様への想像力が相当に求められるから、書店のスタッフも魅力的な専門職の一つになるような気がしている。などなどと考えてるうちに、今日も睡魔に

(I.T)

